

跳びはねてもいい音楽会



と 跳びはねてもOK!
くるまいす 車椅子やストレッチャーでゆったい鑑賞

こえ あ うれしい声を上げてOK!
おんがく たの からだいっばいに音楽を楽しもう!

切り絵/ fuki.artree

バリアフリーな 取り組み

点字プログラム、読み上げ用テキスト、手話通訳、UDトーク、FM補聴援助システム(予定)
鑑賞スペース(車椅子・ストレッチャー・フロアマット・クールダウン)、看護師待機
※公演中も客席は明るいまです。
※途中の休憩はありませんので演奏中の出入りをご自由に行ってください。
※特別な配慮やサポートが必要な方は事前にお問合せ先にご相談ください。



ピアノ
岡田 奏



コントラバス
山崎 実



チェロ
小川 和久



ヴァイオリン
古川 原広斉



ヴァイオリン
杉山 和駿



ヴァイオリン
高橋 和貴

琉球フィル客演ソロ・コンサートマスター

C.ドビュッシー

「月の光」ベルガマスク組曲 より

A.ドヴォルザーク

「アメリカ」弦楽四重奏曲第12番

F.シューベルト

「鱒(ます)」ピアノ五重奏曲

2025年 3月16日(日)

午前公演 / 10:30開演 (9:30開場)

午後公演 / 14:00開演 (13:00開場)

ともかぜ振興会館 多目的ホール

(那覇市金城3-5-3)

[チケット] 全席自由席 ※都合により曲目が変更されることがありますので、予めご了承ください。
一般 2,500円 / 大学生以下 1,500円 (税込、当日券は各500円増)
介助者1名まで無料 琉球フィルチケットサービスへお申し込みの上、
当日障害者手帳のご提示をお願いします。

[プレイガイド] デパートリウボウ / コープあぶれ (2月10日発売開始)

[チケット購入] 琉球フィルチケットサービス teket イープラス

[お問い合わせ] ☎ 080-6489-3048 ✉ ticket@ryukyuphil.org

(琉球フィルチケットサービス)

- 主催 / 一般社団法人 琉球フィルハーモニック
- 後援 / 沖縄県、沖縄県社会福祉協議会、沖縄県身体障害者福祉協会、沖縄県聴覚障害者協会、
沖縄県視覚障害者福祉協会、沖縄県手をつなぐ育成会、琉球新報社、沖縄タイムス社
- 助成 / 公益財団法人 齋藤茂昭記念財団 ■協力 / 琉球補聴器



「跳びはねてもいい音楽会」について

「跳びはねてもいい音楽会」は、障害の有無や年齢に関係なく、誰もが一緒に音楽を楽しめるコンサートです。琉球フィルは2019年から、文化庁の事業として音楽や福祉などの専門家や障害当事者とともに「ゆいまるミュージックプロジェクト」を組織し、障害のある方やその家族、関係者が安心して音楽を楽しめる環境づくりを行ってまいりました。その取り組みとして「美らサウンズコンサート」を県内各地で開催し、その経験やノウハウを全国に発信しています。本公演は、これらの実績をもとに、さらに多くの人に音楽を楽しんでもらえるように開催しています。

演奏者紹介

岡田 奏 / ピアノ

函館市生まれ。15歳で渡仏。パリ国立高等音楽院のピアノ科と室内楽科を最優秀で卒業、修士課程を最優秀で修了し、第3課程アーティスト・ディプロマ科を修了。8歳でリサイタル・デビューを果たし、12歳で開催したショパンのエチュード全曲演奏会や、NHK-FM「名曲リサイタル」は絶賛された。これまでに、日本、フランス、ドイツ、イタリア、モロッコ、ポーランド、スペインの各地でリサイタルを開催し、フランスとベルギーではフランク・ブラレイと共演している。これまでに、ベルギー国立管弦楽団、シモン・ボリバル交響楽団、読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団、仙台フィルハーモニー交響楽団など国内外で数多くのオーケストラと共演している。2013年第8回フランク国際ピアノ・コンクール第1位、2013年第12回ピアノ・キャンパス国際コンクール第1位、2016年エリザベト王妃国際音楽コンクールのファイナリスト入賞。ピアノを加茂和子、植田克己、上田晴子、ジョルジュ・ブルーデルマッハー、フランク・ブラレイ等に、室内楽をクレール・デゼール、イタマル・ゴラン、ブルーノ・パスキエ等に師事。文化庁新進芸術家海外研修制度研修生、ロム・ミュージック・ファンデーション奨学生、フランス・バンクポピュラー財団奨学生として研鑽を積んだ。芸劇オーケストラ・アカデミー・フォー・ウインド講師、一般財団法人地域創造による公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）支援登録アーティスト。

琉球フィル客演ソロ・コンサートマスター / 高橋 和貴

東京都出身。桐朋女子高等学校音楽科（共学）を経て桐朋学園大学音楽学部を首席で卒業。NTT-DoCoMo賞を受賞する。同年、安田生命クオリティオブライフ文化財団の奨学金を得てウィーンへ留学、さらに文化庁派遣芸術家在外研修員としてウィーン音楽院で学ぶ。これまでヴァイオリンを徳永二男、ボリス・クシュニール、アレクサンダー・アレンコフ、ヴラディミール・スピヴァコフ、ティボール・コヴァチ、ジュリアン・ラクリンの各氏に、室内楽をアルテンベルク・トリオに師事。パブロ・サラサーテ国際ヴァイオリンコンクール特別賞など、受賞多数。ソリストとして、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、山形交響楽団などと共演。ヨーロッパ各地の音楽祭にて、ソリスト、室内楽奏者として演奏する傍ら、マスターコースにも度々招かれ、弦楽合奏など、後進の指導にもあたっている。オーケストラ奏者としても、コンサートマスターとして、国内外の多数のオーケストラに客演。宮崎国際音楽祭や、セイジ・オザワ松本フェスティバルなどに毎年参加している。現在、山形交響楽団ソロ・コンサートマスター、琉球フィルハーモニックオーケストラ客演ソロ・コンサートマスター、及びARKシンフォニエッタでもコンサートマスターを務める。また、モーツァルトハウス・ウィーン弦楽四重奏団のメンバーとしても活躍中。

杉山 和駿 / ヴァイオリン

1998年生まれ。横浜市出身。5歳よりヴァイオリンを始める。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京藝術大学音楽学部卒業。卒業時にアカンサス音楽賞を受賞。第69回全日本学生音楽コンクール全国大会高校の部第1位及び免状賞、東横賞、日本放送協会賞、音楽奨励賞。第28回FLAME Competition(フランス)GROUPE4 第1位。第19回大阪国際音楽コンクールコンチェルトオーディション第2位(最高位)、Age-U第1位。第6回あおよし音楽コンクールプロフェッショナルステージ グランプリ及び総務大臣賞。第37回かながわ音楽コンクール一般の部第1位及びコンチェルト賞。これまでに日本センチュリー交響楽団、藝大フィルハーモニア管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。モーツァルト音楽大学夏期国際音楽アカデミー(ザルツブルク)にてAKADEMIE KONZERT、PREISTRÄGERAUSSWAHLに出演。Northern Lights Music Festival(アメリカ)にフルスカラシップで参加。国内では宮崎国際音楽祭、北九州国際音楽祭、ARKフィルハーモニック、NAGANO国際音楽祭等に出演。これまでに徳永二男、篠崎史紀、漆原朝子、小栗まゆみ、景山誠治、窪田茂夫、ジェラルド・ブーレ、オレグ・クリサ、マウロ・イウラートの各氏に師事。2019年度公益財団法人青山音楽財団奨学生。一般財団法人 山田音楽財団楽器賞と事業第1回オーディションに合格。現在、群馬交響楽団ヴァイオリン奏者。

琉球フィル客演首席ヴァイオラ奏者 / 古川原 広希

国立音楽大学卒業。在学中に、新日本フィルハーモニー交響楽団に入団。渡米し川崎雅夫氏のもとで研鑽を積む。これまでに、新日本フィル、札幌交響楽団、大阪フィル、京都市響、東京フィル、神奈川フィル、岡山フィル、九州交響楽団、琉球フィル、静岡交響楽団、シンフォニエッタ静岡、東京シティフィル、などの客員首席をつとめている。洗足学園音楽大学・大学院で後進を指導するかたわら、オーケストラのトレーナーとしても、東京女子医科大学、昭和大学、獨協医科大学、富山大学、全日本医科学生オーケストラ、関東医科学生オーケストラ、北日本医科学生オーケストラ、中央フィル、など数多くの団体を指導している。そのほかにも指揮活動、数多くのアーティストのアルバム、TV・映画、CMなどのレコーディングやコンサートツアーにも参加している。ヴァイオリンを諏訪晶子、ヴァイオラを深井規章、ウルリッヒ・コッホ、白尾愷子、川崎雅夫、竹内晴夫の各氏に師事。現在、新日本フィル団友、洗足学園音楽大学・大学院講師、福井大学医学部管弦楽団名誉指揮者、ヴィルトゥオーゾ横浜 ヴィオラ奏者、2020年より琉球フィルハーモニックオーケストラ客演首席ヴァイオラ奏者。

小川 和久 / チェロ

11歳よりチェロを始める。桐朋学園女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学音楽学部を卒業し、フランス国立ボルドー音楽院へ留学。高等科、室内楽科、現代音楽科、研究科を首席で卒業し、ボルドー市栄誉賞を受賞した。2000年には第4回「若手奏者のためのコンペティション」(現・名古屋国際音楽コンクール)ソロ部門にて優勝。最優秀者賞、朝日新聞社賞も併せて受賞。国立ボルドーオペラ座、ラムルー管弦楽団と特別契約を結び共演したほか、現代音楽グループ「Csellox、TACLOA」を結成し、フランス、スペインを中心に演奏活動を行い、多数のコンGRESSにも参加。これまで、インストメンタル ドウ コルス(コルシカ)の首席奏者を務め、2011年から山形交響楽団の首席奏者に就任した他、プレシヤス・カルテット、チェロロケットリオ・カンターナ、長岡京室内アンサンブル、山形チェンバーミュージシャンズなど、ソロ、室内楽でも幅広く活躍している。これまでに千本博愛、Etienne PECLARDの各氏に師事。

コントラバス / 山崎 実

桐朋学園大学卒業。1999年よりバンドネオン奏者の小松亮太氏率いるタンゴユニットに参加し、様々なライブやレコーディングを行う。2005年、オペラシティ主催のリサイタルシリーズ「B→C」に出演。2006年、「プレイアード五重奏団」のメンバーとなり、三善晃氏を始めとする現代音楽作品の演奏に取り組む。2001年～2003年国立音楽大学非常勤講師。2003年～2016年群馬交響楽団首席奏者。2008年～2009年ドイツのケルンに留学。2018年より東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席奏者。これまでにコントラバスを吉田秀、江口朝彦、星秀樹、池松宏、河原泰則の各氏に師事。



公開リハーサルのご案内(参加無料)

3月15日(土) 18:00～19:00

ともかぜ振興会館 多目的ホール

対象: 小学1年生～高校3年生(保護者2名まで)

「琉球フィル友の会」会員

お申し込み: QRよりお申し込みください。(先着50名)

公開リハ申し込み



ご観賞場所

